

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あけぼの学園		
○保護者評価実施期間	令和7年2月7日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節感を取り入れた活動内容	季節ごとやイベント(お正月、ひなまつり、お花見・ハロウィン・クリスマス等)に応じた、部屋の装飾、絵本の読み聞かせ、音楽の使用、製作、クッキングなど。	気候の良い時には、季節を感じられる場所への散策等も行っていく。
2	親子通園を実施しているため、保護者同士のコミュニケーション、情報交換がスムーズにできる。また、保護者と職員間の情報共有や相談事をすぐに聞ける環境になっている。	通園した際には、積極的に保護者とのコミュニケーションを取り、情報の収集に努めている。また、お昼時には、保護者のみの時間を作り、情報交換が行いやすい環境を作っている。	現在の状況を、継続していくとともに、全体での情報交換会等開催を検討していく。
3	子ども一人一人の特性に応じた、支援計画の作成、活動プログラムの実施。	親子通園を行っているため、保護者に子どもの状態を確認し、相談ながら活動の参加を促し、初めてのことにも積極的に挑戦できるように心がけている。	今後も保護者とのコミュニケーションを密に行っていくとともに、職員間でも情報の共有を行い、支援計画や活動プログラムの見直しを行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣の保育園、幼稚園、事業所との交流が少ない。	現在は感染症等の影響もあり、希望している保護者がいない。	交流の要望があった際は、どのような形での実施が可能か等を職員間で検討し、保護者とも相談しながら実施に向けて計画を立てていく。
2	利用児ご家族のきょうだいに向けた交流や、支援を行えていない。	全体で集まる行事の実施が減少している。	園内で行う行事や、外出をする際に、ごきょうだいの参加も可能にするなどし、きょうだい同士の交流ができる場を提供できるように検討していく。
3			